

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第3回地域公共交通再編検討分科会		
日時	平成20年8月18日(月) 午後2時～午後4時	場所	市役所北別館第3会議室
出席者 (出席者... 欠席者...)	委員	【学識経験者】 中川 大委員(座長)、 大庭哲治委員(副座長) 【市民代表】 永松迪哉委員、 田中英治委員、 森岡宣之委員、 鶴岡由雄委員、 長柄光信委員、 中岡武司委員、 大西 清委員 【行政機関】 阪部光雄委員 代理:戸田辰司(京都運輸支局 運輸企画専門官)、 羽田祐治委員 田中達男委員、 炭谷育夫委員	
	その他		
事務局	大西企画課長、山本課長補佐、西村主任 株式会社地域未来研究所 田中雅宣、義浦慶子、堀部良治、前田雅人		
傍聴者	0人(うち 報道関係者0人)		
議題	1.開会 2.座長あいさつ 3.議事 (1)協議事項 木津地域(きのつバス)の再編方針について 路線再編の方向性について 加茂地域及び山城地域における再編計画について 路線の再確認について ・当尾線 ・加茂コミュニティバス ・山城福祉バス(特に神童子地区、上狛周辺、バス停留所) 運行ダイヤについて 運賃及びコミュニティバスの運行形態について 社会実験開始予定日について その他 (2)その他 法定協議会への報告の取扱いについて 次回分科会について その他 4.閉会		
会議結果要旨	1.開会 事務局より開会を宣言した。 2.座長あいさつ 議事にあたり中川座長からあいさつがあった。		

	<p>3. 議 事 地域公共交通再編検討分科会設置規程により、中川座長が議長となり、また議長から会議録の署名委員として、森岡宣之委員を指名した。</p> <p>(1) 協議事項 木津地域(きのつバス)の再編方針について 「資料1 きのつバスの再編方針(案)の整理〔木津地域〕」を用いて、きのつバスの再編方針(案)について説明した。 加茂地域及び山城地域における再編計画について 「資料2 木津川市バス路線 再編内容(案)」「資料3 加茂地域及び山城地域運行ダイヤ」「資料4 運賃及び加茂コミュニティバスの運行形態について」を用いて、加茂地域や山城地域の路線における運行ダイヤ、加茂コミュニティバスの運行形態、木津・加茂・山城地域の再編後バス運賃(案)について説明した。</p> <p>(2) その他 法定協議会への報告の取扱いについて 8月20日(水)の協議会において、分科会での検討結果を協議会へ報告する。 次回分科会について 日程が決まり次第連絡する旨を伝えた。 その他 「参考資料 きづがわ公共交通だより(案)」を用いて、広報きづがわ9月号に折り込み予定の、公共交通だより(案)について説明した。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開 会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 座長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議 事 (1) 協議事項 木津地域(きのつバス)の再編方針について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】 ・資料1 きのつバスの再編方針(案)の整理〔木津地域〕</p> <p>【主な意見・質疑等】(...質疑・意見、▶...質疑・意見に対する返答) 路線について変更することは考えていないのか。奈良交通との調整等が必要かと思うが、新祝園駅方面への路線があればと良いと思う。 ▶・きのつバスの利用者は非常に多く、現在1日900人を超えている。そのため、大幅に変更すると、現在きのつバスを利用している方の利便性を損なう可能性もある。ただ、片道50分かかる路線もあるため、片道30分程度の路線に分割することで、利便性を向上させるような方向での再編を考えている。</p>

・新祝園駅方面への路線については、コミュニティバスの性格上、市を跨ぐ路線の場合、精華町との調整が必要となる。新祝園駅方面へのコミュニティバス延伸は、課題として認識しているが、すぐに実現することは難しい状況である。

・路線については、意見をいただければ検討をしたい。

現在、きのつバスは100円で乗車可能である。この後議論していただくことになると思うが、再編後は200円程度で統一してはどうかという提案がある。鹿背山～山田川駅といった、木津駅で分割される路線を起点から終点まで利用する場合、料金は現行の100円から再編後には400円となってしまう。サービスが向上することで、料金アップを理解していただける方と、いただけない方が出てくるかと思う。このあたりについても是非検討して欲しい。

路線を分割しても、他路線との接続が悪くならないように注意して欲しい。運賃が上がって接続が悪くならないようにして欲しい。

運行本数は、現行と同程度になるかと思う。今の運行本数の倍になる、または半分になると言うことはないと思う。

分割後、異なる路線を利用する場合、運賃は2回支払うことになるのか。

- ▶ ・一般的な考え方からすると、別の路線に乗車すればその都度料金を支払うことになる。この考え方がきのつバスに当てはまるかどうかは別問題であるので、議論が必要である。100円で乗車出来ていたのが400円必要になる、といったことがないようにすることは必要かと思う。そのまま乗り継ぐ場合、支払いを1回にする、あるいは1日乗車券を発行するなど、運賃システムによる対応が可能かと思う。

・地図上等では路線を区切った方が分かりやすく、またバスの行き先表示についても、行き先が明確になっている方が利用しやすいため、路線を短くするメリットはある。路線を分割しても、バスは1回1回車庫に入るわけではなく、実際には木津駅で何分か停車した後、行き先を切り替えて異なる路線のバスとして運行することになる。

和束町から加茂を経由して木津駅へ向かう奈良交通の路線バスが、鹿背山線と重複する区間を運行している。この路線も有効に活用出来ればと思う。

和束町小杉から木津駅の路線バスは、7時～18時で運行している。

- ▶ ・協働・協調して運行できれば有効であると考えますが、今後の和束～木津間のバス路線の継続などについて、和束町との調整が必要な部分もある。しかし、ご指摘のように、同じようなダイヤで路線バスとコミュニティバスが運行することがないように注意する。

・コミュニティバスが発車した2、3分後に路線バスが到着するようなことがないようにする必要がある。きのつバスは、ダイヤの兼ね合いもあるため、運行本数の少ない路線バスがきのつバスのダイヤを考慮して運行するようにしてもらえればと思う。ただし、すぐに路線バスのダイヤを変更することは難しい。

・木津南地区でもきのつバスと路線バスが重複している区間がある。これについてもダイヤをチェックしておく必要がある。

・州見台線、梅谷線は、迂回なしで直接木津駅へ向かうルートになるため、所要時間が短縮される。

加茂地域及び山城地域における再編計画について
会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・資料2 木津川市バス路線 再編内容（案）
- ・資料3 加茂地域及び山城地域 運行ダイヤ
- ・資料4 運賃及び加茂コミュニティバスの運行形態について

【主な意見・質疑等】（…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

山城地域について、提案のように、北行きだけでも上粕の集落内を走行するようにしてほしい。また、森林公園までの臨時便なども、可能であれば検討してほしい。

- ▶・前回の協議会では、南北ともに同一ルートでの運行について確認していただいている。北行きのみ上粕内を走行するルートについて、今回の分科会で修正を了承していただければ、再度協議会に提案したい。

・森林公園行きの臨時便については、距離が遠く所要時間がかかりすぎるため、今回の再編の枠組みの中では対応できないかと思う。ただし、森林公園の営業努力という面から、山城地域のバス停で降りた方を、森林公園から迎えに来る、といったことも今後協議していくことが考えられる。

北行きルートが上粕の集落内を走行することで、往復1時間を超えるようならば、今回示していただいたダイヤでの運行が実現できなくなり、利用者にとって非常に利用しづらくなる。もし1時間を超えるようならば、どこかを削らなければならぬため、所要時間について確認が必要である。

山城福祉バスは無料で運行されており、現在バス停は設置されていない。コミュニティバスとして再編するにあたり、バス停標柱を設置する必要があるため、公安の担当者と現地を確認した。その結果、安全上の観点から、現在停車している場所から若干移動しなければならないところがある。安全を確保するためなので、ご理解いただきたい。

・加茂コミュニティバスについて、恭仁小学校、河原、岡崎南口に停車する路線が3路線あるが、登大路・奥畑線、銭司線は、これらのバス停を経由しないルートにしてはどうか。

・船屋付近（仮）というバス停があるが、店舗が多い船屋通りを走行するルートにしてはどうか。

- ▶・複数路線が同じバス停で停車することで、利用できる本数が多くなるため、利便性が向上し利用者増が見込める。きのつバスでも木津駅～山田川間は3路線が重複しており、利用者が非常に多くなっている。

・船屋通りについては、将来的には歴史ある町並みを活かしたまちづくりとして、総合計画の中に入れる予定である。今の段階では、既存の路線を出来るだけ活かして再編しようとしている。財源等の制約がある中で様々な意見をいただいているが、全てへの対応は難しいことを理解いただきたい。

・山城地域におけるバス停の位置は、公安委員会の指示によることでやむを得ない。

・バス停によっては、個人宅の名称が付いている箇所もある。本人が納得していただければ問題ないが、引っ越しされた場合などに名称が変わるという問題が出てくるので、地名にしておいた方が良くと思う。

・平尾(仮)というバス停を南平尾に、松本宅前を北平尾としてはどうか。地名をバス停名に採用した方が良くと思う。

・北行きルートが木村宅で止まっているが、岡田医院前や西田商店前へは行かないのか。

▶ ・起点と終点をどこにするかの違いである。実際は木村宅前、岡田医院前、西田商店、中野宅前、国道24号を經由して、京都酒造跡地前に戻ってくるループ上の路線となっている。

・バス停の名称については、地元と市で協力して良い名前を付けてもらえればと思う。

・加茂コミュニティバスは3台で運行されるのか。新たに購入することも考えているのか。

・西線、銭司線、登大路・奥畑線の一部区間は、道路幅員が狭いため、大きなバスは走れないと思う。

▶ 自家用有償から、貸切または乗合によることとしたいと考えており、購入は考えていない。また加茂通学線以外は、現状の利用状況からジャンボタクシータイプの車両とっており、このサイズであれば走行は可能である。

・バス停は出来るだけ便利なものにして欲しい。1便あたりの利用者が10人定数なら、利用者宅を經由するような形でも良いのではないか。利用者を増やすにはフリー乗降も考えられる。

・利用状況によっては、路線をなくすこともあるという話だが、利用者が少なくても福祉目的で運行させることも重要ではないか。

・加茂地域の観光振興という面で考えると、恭仁京跡へのアクセス交通がジャンボタクシー程度のバスで対応できるのか。

・当尾線では、加茂山の家から加茂駅まで、400円程度必要になってしまうため、料金体系についても検討して欲しい。

▶ ・集落付近でバス停を設けているため、フリー乗降にしなくても対応可能かと考える。

・税金を投入して運行している路線でもあるため、実証運行の結果を受けて、予約型に移行するのか、路線をなくすのかといった、一定の基準は必要である。

・観光客が多くなれば、ジャンボタクシーからの車両変更も考えられる。
・公共交通の料金は、距離に比例するのが公平な考え方である。だが今回の再編では3地域の格差をなくす方向で検討されているため、地元の利用者は回数券を利用すれば200円で利用可能である。山の家から加茂駅に行く場合、現在は400円程度かかるが、再編後は200円と大幅に安くなる。赤字路線の料金を安くしてサービスを向上させる再編方針は、全国的に見ても異例である。木津地域においては現行100円の料金を200円に上げることになる。全体的に見れば格差をなくす再編方針になっていると考える。

・当尾地域を観光地として盛り上げるには、加茂山の家から加茂駅へ向かう路線が必要ではないか。

・銭司線は、井平尾の集落を走行してはどうか。

・山田線の山田バス停を、もっと奥の集落近くに設置できないか。

・例えば特定の商店で発行されたポイントで、コミュニティバスの利用券と引き換えできるなど、商業施設との連携を考えてはどうか。

▶ ・加茂山の家から加茂駅へ向かう路線を実現するには、バスが2台必要となる。バス1台を1年間運行すれば、おおよそ1,500万円程度必要となる。将来的に利用者が増加し、路線が起動に乗れば、台数を増やすことも考えられる。

・山田線は以前、現行よりも大型の車両が運行していたため、山田バス停は今の位置になったものと思われる。ジャンボタクシーであれば、もっと奥まで入り込むことが可能かもしれないので、検討する。

・商業施設との連携については、加茂地域だけでなく、木津川市全域で考えていくことが必要と思う。今後の課題として認識している。

1時間、2時間ごとのパターンダイヤの重要性を強調しているが、様々な地域を見てきた中で、毎時決まった時間に運行するバスとそうでないバスでは、利用者数が大きく異なる。

・きのつバスは再編後に料金が200円となるが、奈良交通では170円の区間がある。この区間のみ、きのつバスの料金を170円にするなども考えられるのではないか。

・加茂コミュニティバスの南加茂台線でも、奈良交通と重複する区間があるため、同様の問題が出てくるかと思う。

▶ 回数券や1日乗車券といった、運賃システムを工夫して、料金の抵抗感なく利用してもらえようにする。特定の区間だけ安くすることは難しいので、利用頻度が高い方が優遇されるように出来ればと思う。

回数券の割引率について何か基準や規制のようなものは存在するのか。

▶ こういった協議会で決められていれば、柔軟に設定しても問題ない。

きのつバスの木津駅～山田川駅間は3路線が重複しているため、運行本数が多く、利用者も多くなっている。再編方針(案)に記載されている、夕方以降の運

	<p>行を実施すれば、奈良交通は撤退するのではないか。奈良交通の担当者からは、木津川市内のバス路線は、ほとんどが赤字路線と聞いている。</p> <p>▶ 奈良交通との調整が必要である。しかし利用者からすれば2種類のバス停が設置されているよりも、統一されていた方が利用しやすいと思う。</p> <p>回数券は3地域共通で利用できるのか。共通とした方が良いかと思うが。</p> <p>▶ 加茂地域、山城地域の社会実験が、木津地域よりも先行して実施されるため、当初は各地域別を想定していた。共通の方が良いという意見があれば共通としても構わないと考える。ただし、木津地域は現行 100 円で大規模路線のため、共通化はそれ以降になる。</p> <p>(2) その他 法定協議会への報告の取扱いについて 会議結果要旨のとおり。</p> <p>次回分科会開催日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>その他 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料 きづがわ公共交通だより(案) <p>【主な意見・質疑等】(...質疑・意見、▶...質疑・意見に対する返答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な再編内容も固まってきたので、再編の方向性や便利になることなど、もう少し前向きな内容を掲載してはどうか。 ・1便あたりの利用者数は、路線が長ければ利用者も多くなるため、グラフの表現が少し不公平かと思う。 <p>5. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p>その他 特記事項</p>	